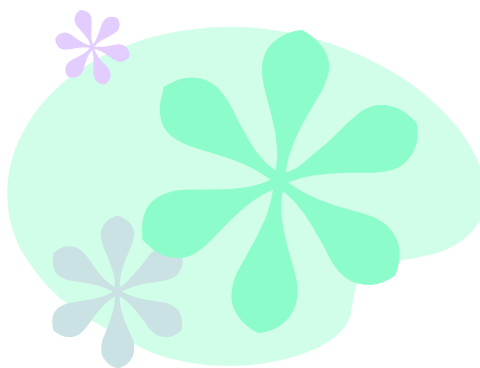


解決!ビフォーアフター スタートアップ講座

私が薦めるこの一冊

埼高教青年部



推薦者 : Hさん (川島ひばりが丘養護学校)
Tさん (三郷養護学校)

子どもの発達と診断 1～5

田中昌人・田中杉恵 著 大月書店 (各2, 800円)

<お薦めしたい人・時>

子どもの内面に寄り添った丁寧な実践をしたいと考えている人、子育て経験のない人に (Hさん)

発達をじっくり学びたい人に (Tさん)

<お薦め理由>

◇子どもの内面に寄り添うためには、内面を知ることが大切です。そのためには発達の状況を把握できることは重要です。創刊された当時 (1981年)、子育ての経験もなく、障害児教育の知識もなかった私の発達のテキストでした。一人で読むのは大変なので、職場の仲間と学び合うことをお薦めします。ビデオも出ています。(H)

◇それぞれの段階ごとの子どもの発達を貴重な写真を豊富に盛り込んで説明している本です。自宅に一冊あると、いつでも発達に立ちかえれます。(T)

推薦者 : Yさん (和光養護学校)

眠れぬ夜の教師のために

三上 満 大月書店 (520円)

<お薦めしたい人・時>

自分が教師に向いているのかと悩んだ時

<お薦め理由>

20年ほど前、私がまだ学生で教員をめざしていた頃に出版された本です。「未熟な人間でいい。誠実であればいい。」というメッセージが心に響きました。今も「仕事をやめたいな」と思ったとき、改めて読むと励まされる一冊です。

推薦者 : Yさん (和光養護学校)

ぐんぐん伸びろ発達の芽

近藤 直子 全障研出版 (1, 553円+税)

<お薦めしたい人・時>
発達について学びたい人に

<お薦め理由>

発達について、とてもわかりやすく書かれています。

具体的な事例もたくさんあげられていて、その子どもの姿をどう見るかという視点が「なるほど」と思わせてくれます。子育てに悩むお母さんたちにもおすすめてです。

推薦者 : Iさん (和光養護学校)

Tさん (三郷養護学校)

発達の扉 (上・下)

白石 正久 かもがわ出版 (2, 000円)

<お薦めしたい人・時>
障害児教育にはじめてたずさわる人に (Iさん)
発達を学びたい人に (Tさん)

<お薦め理由>

◇「何故、障害をもっている子はこんな行動をとるのかな」

「どうやってかかわってよいのだろう」

「この子はこの先、成長できるのか」・・・などなど悩んでいるあなた。

白石先生が、子どもの見方、発達の見方をやさしい語り口調で解説してくれます。きっと、表情がほころぶこと、まちがいなしです!! (I)

◇割とカンタンに発達を学べる本です。発達を学ぶと、その子一人一人の実態把握ができ、次なる課題も見えてきます。(T)

推薦者 : Hさん (和光南養護学校)

わすれられた命の詩

笈 (こだま) 雄二 ポプラ社 (1, 200円 (税別))

<お薦めしたい人・時>

まだ読んでいないすべての人に

<お薦め理由>

笈さんはハンセン病国家賠償訴訟原告団の代表です。ハンセン病は感染力のごく弱い伝染病です。しかし、顔などに症状があらわれるため、「神の国＝日本」にはあるまじき病気として、隔離政策がとられてきました。1941年には治療薬が開発されていたにもかかわらず、「らい予防法」が廃止されたのは1966年、つい10年前のことです。2001年には国家賠償訴訟に勝利し、ようやく人権の回復の道が拓かれました。この本はハンセン病患者として国の間違った政策に苦しめられ続け、それに負けずにたたかってきた笈さんの生い立ちをもとにハンセン病問題の歴史が生々しく描かれています。

教育基本法が改悪され、憲法改悪も目論まれている今、国の間違った政策に勇気をもって「NO!」と言える確信を与えてくれる一冊です。

推薦者 : Mさん (三郷養護学校)

分断される日本

齊藤 貴男 角川書店

<お薦めしたい人・時>

臨採の先生に

<お薦め理由>

現在の格差社会の細かな部分までわかりやすく書いてあります。怒りが沸いてくるだけかも知れないですが・・・。

推薦者 : Mさん (三郷養護学校)

× (バツ) ゲーム

リアル鬼ごっこ

山田 悠介 冬幻社

<お薦めしたい人・時>

ドキドキしたい時に

<お薦め理由>

現代社会の恐ろしさを若者の視点から書いたサスペンスです。今の日本と重なる部分も多く……。

推薦者 : Oさん (狭山養護学校)

どんぐりの家 (全7巻)

山本 おさむ 小学館 (850円)

<お薦めしたい人・時>

障害児教育にかかわるすべての人に

<お薦め理由>

この漫画は、私が新任以来15年間かかわったろう学校の重複学級がモデルの漫画です。重複障害をもつ子どもたちの学校や寄宿舎の様子、保護者の子育ての様子、作業所づくりのとりにくみなどが丁寧に描かれていて、この漫画がビックコミックに連載されると大反響をよびました。

その結果、映画化の話が出て、二つのろう学校だけでなく、県内の障害児学校や教職員組合、全国の様々な人から応援カンパを得て、映画『どんぐりの家』ができました。今では、全国の障害児学校だけでなく、多くの小中学校の図書館にも置かれています。

障害児教育にかかわるすべての方々に、ぜひ読んでもらいたい本です。

推薦者 : Tさん (三郷養護学校)

障害児の子育て

茂木 俊彦 全障研出版部 (1, 200円)

<お薦めしたい人・時>

保護者との連携に悩んでいる人

保護者の立場に立ちたい人

<お薦め理由>

以前、保護者に「よい本を紹介してください」と言われ、お貸したら、そのまま戻らなかったことがありました。(あげたことにしましたが・・・)

読みやすく、わかりやすい本です。

推薦者 : Tさん (三郷養護学校)

ことばをはぐくむ

中川 信子 ぶどう者 (1, 450円)

<お薦めしたい人・時>

発達に遅れのある子どもたちに、どうやってことばの力をつけたらよいか悩んでいる人へ

<お薦め理由>

子どもたちがことばを獲得していくには、どんな力をつけていったらよいか書かれています。たんに訓練だけではなく、内面の育ちの必要性も書かれており、保護者への説明の時にも、この知識は武器になります。

推薦者 : Mさん (浦和養護学校)

みんなのねがい

全障研出版部 (550円/毎月発行)

<お薦め理由>

子育て等で、まとまった時間がとれず、厚い本など落ち着いて読めない時期もあると思いますが、月一回のこの薄い雑誌なら大丈夫。内容も充実しています。障害児・者をめぐる情勢、研究、実践……。これを読まない、このめまぐるしい教育界の変化についていけないと思うのは、私だけではないと思います。

推薦者 : Nさん (浦和養護学校)

授業の出前、いらんかね。

山本純士 文藝春秋 (文春新書) (720円)

<お薦めしたい人・時>

病弱教育に関心のある人

障害児教育を幅広くとらえたいと感じている人

「すべての子どもたちに学習権の保障を」と熱く燃えている人、熱く燃えたい人

<お薦め理由>

著者は愛知県高等学校教職員組合の執行委員を努めたこともある現役の養護学校教諭。病院内訪問教育を長年担当し、県内各地の病院を飛び回っています。入院中の子どもたち・保護者の内面に寄り添い、葛藤しながら丁寧なやりとりを続ける筆者の教育実践の姿勢は学ぶべき点が多く、また筆者の人柄がにじみ出るような暖かい文章はまるで小説を読んでいるような心地よさです。どんなに障害が重い子どもにも学習権の全面保障をと実現した1979年の養護学校義務制。それ以来、ねばりつよく続けてきた学習権保障運動の到達点として病気の子どもの教育の在り方は埼玉でも大きな課題です。病弱教育の現状と課題をコンパクトに学べるだけでなく障害児教育の在り方、到達点を学ぶ上でも最適な一冊です。